

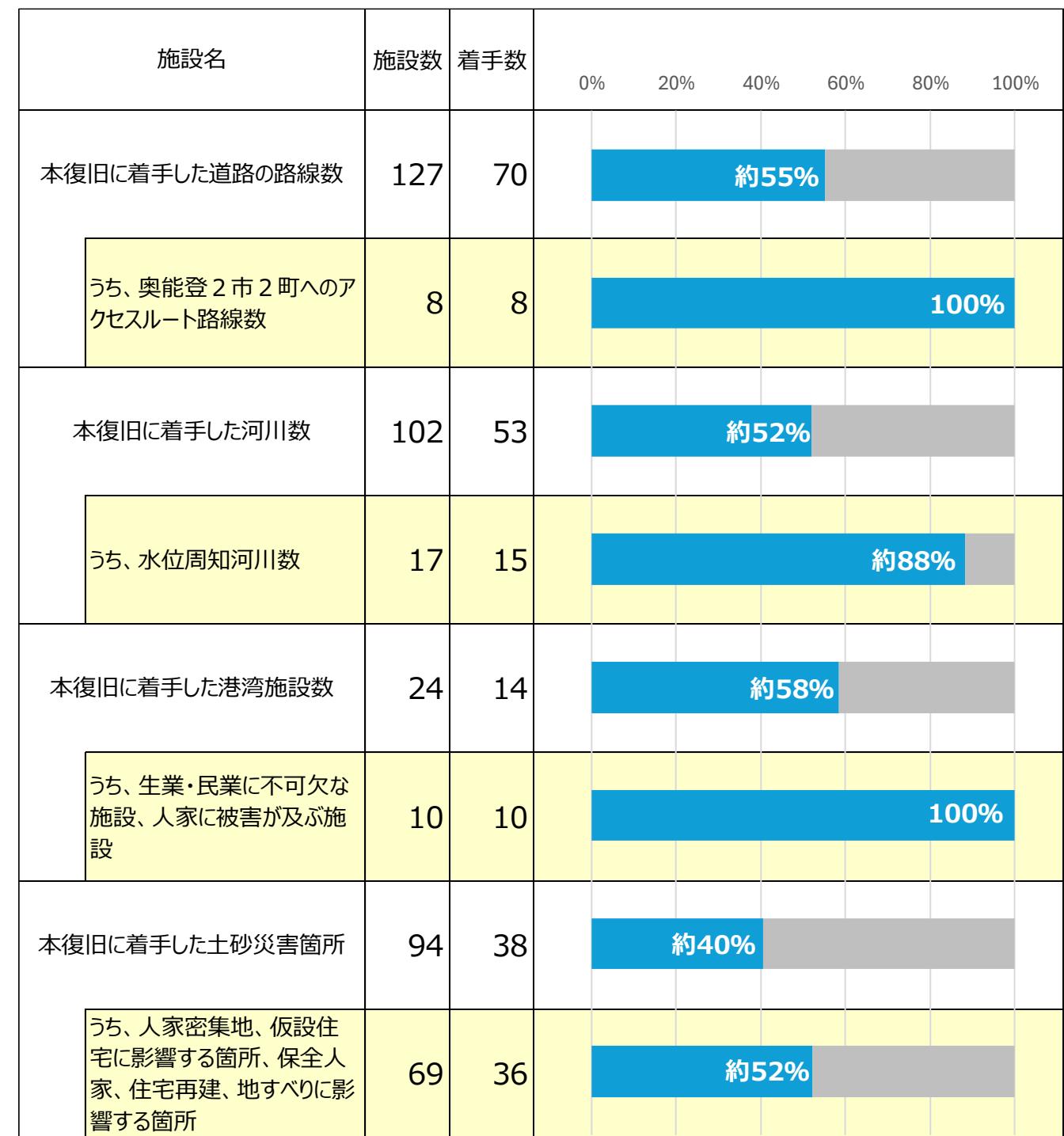
令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 復旧・復興のあゆみ



◇復旧・復興の状況

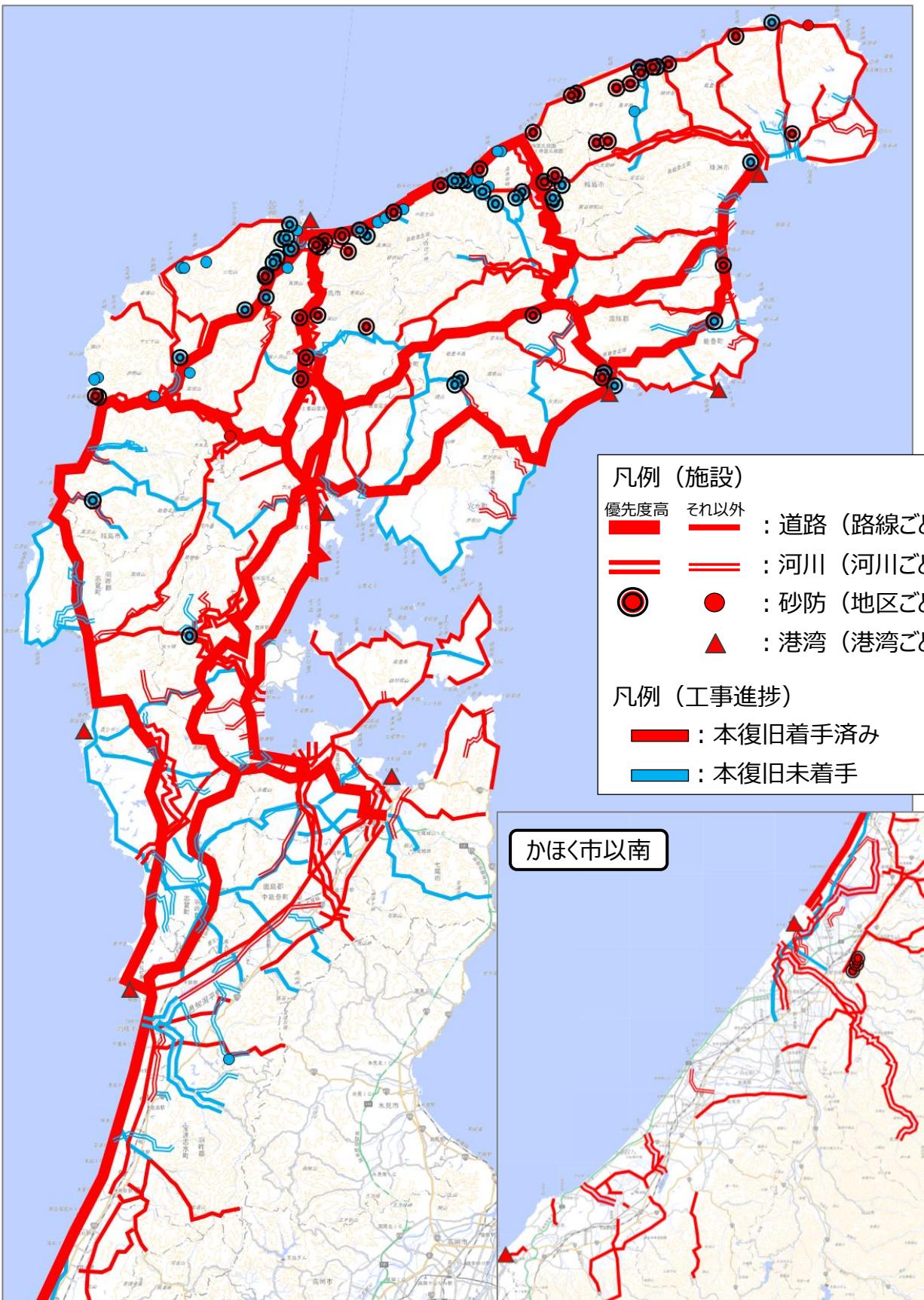
能登半島地震から2年、奥能登豪雨から1年3ヶ月が経過しました。
本県では、復旧から復興に向けた動きが少しずつ進展しております。
現在の各施設の復旧状況について、ご紹介いたします。

<県管理の公共土木施設の現状（R7.12末）>



◇本復旧工事の着手状況

R8.1.13



令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 復旧・復興のあゆみ

道 路

◇復旧状況

県管理道路では、地震で最大42路線87箇所、豪雨で最大25路線48箇所が通行止めとなりましたが、応急復旧を進めた結果、現在の通行止め箇所は5路線10箇所まで減少しています。

残る箇所は、地すべりやトンネル崩落による大規模な被害が発生した箇所であり、引き続き、通行止めの解除を目指し、工事を進めています。

また、道路の本復旧についても、奥能登2市2町へのアクセスルートを優先して、順次着手しています。

国道249号（穴水町志ヶ浦）



R6.1

R7.8

七尾輪島線（輪島市三井町長沢）



R7.10



R7.10

宇出津町野線（能登町宇出津山分）



R7.12



R7.10

河 川

◇復旧状況

県管理河川では、地震により88河川、豪雨により38河川で、護岸損壊、土砂・流木の堆積等の被害が発生しました。このうち、川の流れを著しく阻害している箇所などの応急復旧は、令和7年梅雨前までに完了しています。

本復旧については、令和6年度より、人家が連坦するなど優先度の高い河川から順次工事に着手しており、特に大きな被害を受けた奥能登2市2町では、令和7年1月から本格的な復旧工事に着手しています。

米町川（志賀町直海）



R7.3

崎山川（七尾市鵜浦町）



R7.9

河原田川（輪島市河井町）



R7.11



R7.12

八ケ川（輪島市門前町道下）

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 復旧・復興のあゆみ

砂防

◇復旧状況

地震や豪雨では、多くの土砂災害が発生しました。このうち、人家や道路に隣接し二次災害のおそれがあるなど、特に対応が必要な69箇所について、令和7年梅雨前までに応急復旧を完了させました。

現在は、地すべり防止施設や砂防堰堤等の恒久的な砂防施設の整備や、被災した砂防関係施設の本復旧工事を進めています。

風無1号（志賀町西海風無）



R7.6

小峰山（輪島市河井町）



R7.12

飯塚（珠洲市正院町飯塚）



R7.12

藤波（能登町字藤波）

港湾

◇復旧状況

能登半島地震では、県管理の10港湾全てにおいて、岸壁や物揚場、防波堤、臨港道路など、多くの港湾施設が被災しましたが、令和7年3月までに応急復旧が完了し、各港湾で荷役や漁業が再開しています。

本復旧については、塩屋港、福浦港の2港湾で完了しており、残る8港湾の復旧工事を進めています。

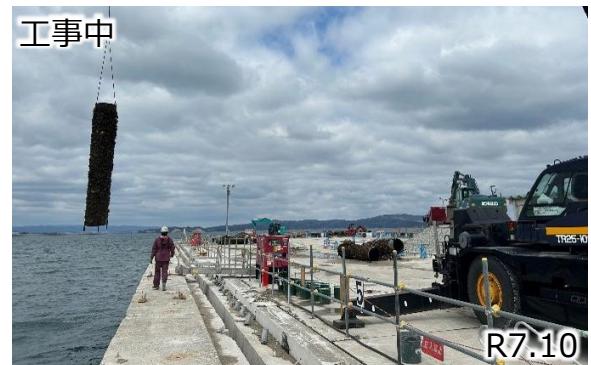
福浦港（志賀町）



R6.1

R7.1

輪島港（輪島市）



R7.9

R7.10

七尾港（七尾市）

七尾港（七尾市）



R7.9

R7.10

宇出津港（能登町）



令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 復旧・復興のあゆみ

住まい

◆復興公営住宅

自宅の再建が困難な被災者への支援として、市町が復興公営住宅の整備を進めており、9市町が現在整備予定の2,986戸の復興公営住宅について、全て用地確保の目処が立っています。

七尾市、羽咋市、穴水町では先行する地区において既に工事に着手しており、中能登町では、年度内の工事着手に向け準備を進めています。

整備予定地区



整備計画

市町	輪島市	珠洲市	能登町	穴水町	七尾市
必要戸数 (着手戸数) 地区数	975戸 7地区	700戸 26地区	260戸 13地区	249戸 (50戸) 6地区	388戸 (14戸) 14地区
着手時期 完成時期	R8春 着手予定	R8春 着手予定	R8夏 着手予定	R7.8着手済 R8.9完成予定	R7.10着手済 R8.6完成予定
市町	志賀町	中能登町	羽咋市	内灘町	合計
必要戸数 (着手戸数)	184戸 4地区	20戸 1地区	70戸 (70戸) 1地区	140戸 6地区	2,986戸 (134戸) 78地区
着手時期 完成時期	R8夏 着手予定	R7年度内 着手予定	R7.11着手済 R8.9完成予定	R8夏 着手予定	

完成イメージ

(穴水町上野地区)



(七尾市小丸山地区)





令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 復旧・復興のあゆみ

住まい

◇モデルハウス整備

住宅相談会などで、被災者から「住居の再建の参考とするため、モデル住宅を整備してほしい」との声が寄せられたことを受け、県、七尾市、輪島市、建築関係団体が連携し、七尾市で2戸、輪島市で4戸の計6戸のモデルハウスの整備を予定しています。

GWまでの完成を目指し、いしかわ型復興住宅モデルプラン提案事業者などが市が無償提供する建設地に住宅を整備

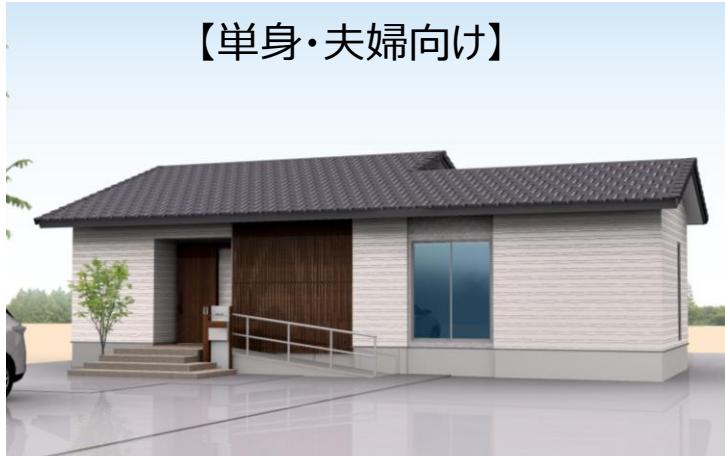
モデルハウスの活用

県・市・事業者が連携し、完成したモデル住宅を活用した住宅相談会を開催するなど、住宅再建を支援

整備概要

建設地	七尾市 2戸（万行地区2戸） 輪島市 4戸（河井町地区2戸、門前地区2戸）
整備モデル	「単身・夫婦向け」および「ファミリー世帯向け」を想定

(整備する住戸のイメージ)



【単身・夫婦向け】



【ファミリー世帯向け】

整備予定箇所

